

2021年度 第2回8月九大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。
- 5) [指定語句] は、解答文中のどこかで使用していれば減点しない。

[1]

問 2 22 点

[指定語句] 供給過剰 シヤントン省 長距離輸送 肉類と油脂

(下線不要) ※指定語句不足は 1 語につき -1 点

米は、戦後長らく食糧管理制度の下で農家を保護したため自給率が高いが、食生活の多様化で消費量が減ると供給過剰となり、減反が奨励された。現在、米の流通は自由化、輸入は関税化されたが、高関税による保護と国産の銘柄米への需要の高さから、高い自給率を保っている。野菜は、重量当たりの単価が安く、鮮度が商品価値となるため長距離輸送には向かず、比較的自給率が高い。だが近年は輸送技術の進歩などにより、中国のシヤントン省などからの輸入野菜が増え、自給率が低下している。大豆は、食生活の多様化による肉類と油脂の消費量増加に伴い、肉類生産用の飼料、油脂の原料として安価な輸入品に需要が集中し、自給率が著しく低下した。

【加点ポイント】

i) A (米) について (10 点)

★問 1 「A : 米」を正解していることを加点の前提とする

① (自給率について) 自給率が高い／自給率が高いままである
／自給率が 100% 近く／自給率が高いが少し下がった →2 点

② (自給率が高い理由として)

- ・戦後長らく食糧管理制度 (食管法) の下で農家を保護した
- ・輸入米は高関税である
- ・国産の銘柄米の需要が高い／日本の米は美味しい／外国米は不人気である

(自給率低下の理由として)

- ・食生活の多様化で米の消費量が減った
- ・外食産業などで安い輸入米が使われるようになった

1 つ 2 点 4 点まで

- ③ (1970年代の農業政策) 減反政策/減反 →2点
- ④ (③の背景) 米が供給過剰となった/米が余った/米の消費量が減った →2点

ii) B (野菜) について (6点)

★問1「B:野菜」を正解していることを加点の前提とする

- ① (自給率について) 以前は高かった/以前は100%程度だった →1点
- ② (自給率について) 近年は低下している/近年は80%程度になった →1点
- ③ (①の理由として) 長距離輸送には向かない/鮮度が商品価値となる
/重量当たりの単価が安く航空機での長距離輸送では採算があわない →2点
- ④ (②の理由として) 中国のシャントン省などからの輸入が増えた
/輸送技術の進歩により輸入が増えた
/韓国や中国など近隣国からの輸入が増えた
/食の多様化により珍しい野菜の輸入が増えた
/南半球などから端境期の野菜の輸入が増えた →2点

iii) D (大豆) について (6点)

★問1「D:大豆」を正解していることを加点の前提とする

- ① (自給率について) 自給率が著しく低下した/元々低い自給率がさらに低下した →2点
- ② (①の理由) 輸入品が安価である/国産大豆は価格が高い →2点
- ③ (①の理由) 肉類と油脂の消費量が増加/肉類と油脂の需要が増えた →1点
- ④ (③により) 飼料としての需要が増えた/油脂原料としての需要が増えた →1点

問3 16点

魚介類の自給率の低下要因は、世界各国の排他的経済水域の設定による遠洋漁業の衰退、沖合漁業の資源枯渇、円高の進行、魚介類に対する嗜好の多様化などを背景に、国内生産が減少し輸入が急増したことにある。輸入が急増した魚介類のうち、まぐろ類は畜養目的の未成魚を含めた乱獲、管理が難しい回遊魚であることなどから資源の枯渇が進む。えびは、アジアの輸入先において養殖池の造成のためのマングローブ林の破壊が深刻化した。

【加点ポイント】

i) 魚介類の自給率低下について (8点)

- ① (日本の貿易環境) 円高 →2点
- ② (漁業) 遠洋漁業の衰退 →1点
- ③ (②の背景) 排他的経済水域の設定 →1点 (※「石油危機」では加点しない)
- ④ (漁業) 沖合漁業の衰退 →1点
- ⑤ (④の背景) 資源枯渇/いわしなどの個体数が減った →1点
- ⑥ (消費者) 魚介類に対する嗜好の多様化/安価な輸入魚介類の需要拡大 →2点

ii) X (まぐろ類) の生産拡大について (4点)

★問3「X:⑥」を正解していることを加点の前提とする

- ① (問題点) 資源の枯渇/資源の減少 →2点
② (①の要因) 乱獲/畜養のための稚魚の捕獲/回遊魚で資源管理が難しい →2点

iii) Y (えび) の生産拡大について (4点)

★問3「Y:③」を正解していることを加点の前提とする

- ① (問題点) マングローブ林の破壊/養殖海域の水質汚染 →2点
② (①の要因) 養殖池の造成/養殖池への大量の飼料や薬剤の投与 →2点

[2]

問2 22点

【指定語句】 EUの経済支援 周縁部 緊縮財政 民主化 観光業 (下線不要)

世界金融危機の影響を受け、財政の粉飾が露呈したギリシャをはじめ南ヨーロッパ諸国は深刻な不景気に陥った。これらの国は1970年代の民主化後、主要国から遅れてECに加盟したが、ヨーロッパ中心地域からみて周縁部にあり、産業に占める第一次産業の割合が高く工業の高度化も進まず、経済水準が低い。また、観光業への依存度が高く、世界的不景気の影響を受けやすい。財政破綻による他のユーロ圏への悪影響を防ぐためEUの経済支援を得ているが、各国政府はその条件として緊縮財政を受け入れており、積極的な失業対策は打ちにくい。

【加点ポイント】(※問1の可否は問わない)

i) 対象国(ギリシャ(A国)・スペイン(B国)・ポルトガル)の特徴(8点)

- ① (位置づけ) ヨーロッパ中心地域からみて周縁部/ヨーロッパの周縁部
/ヨーロッパ南部に位置する/ヨーロッパの主要国とは言えない
/EC(EU)加盟が遅い/EUの主要国には当たらない →2点
② (政治状況) 民主化が遅れた/1970年代に民主化した →2点
③ (EUの中での経済状況) 経済水準が低い/工業化が遅れた/所得水準が低い
/第一次産業の割合が高い →2点
④ (産業の特徴) 観光業が盛ん/観光業への依存度が高い
/観光業は不景気の影響を受けやすい →2点

ii) 失業率が急上昇の契機(6点)

- ① (時期的背景) 世界金融危機の影響/リーマンショックの影響 →3点
② (ギリシャ(A国)について) 財政危機が露呈/財政赤字が膨らんだ
/財政破綻の危険性が増した/公務員給与や年金給付が高すぎた
/旧政権が財政赤字を隠していた →3点

(※「ギリシャ危機が起こった/経済が悪化した」のみ →2点)

iii) E U からの支援と影響 (8 点)

- ① (対象国は) E U の経済支援を得ることになった
/E U の経済支援により経済の立て直しを図っている →2 点
- ② (①の背景) 他のユーロ圏への悪影響を防ぐ/ユーロ (共通通貨)の信用を保つ →2 点
- ③ (①により)・緊縮財政を求められた/緊縮財政となっている →2 点
・公共投資 (公共事業など) を拡大できない/公務員が削減された
/失業対策などを打ち出せない →2 点

問 3 16 点

【指定語句】 移民政策 高技能労働者 工場の移転 東方拡大 (下線不要)

2004 年以降の E U 東方拡大により新規加盟したポーランドなどの東ヨーロッパ諸国は、社会主義体制下で停滞していた低い経済水準を背景に、西側諸国から安い労働力を求める工場の移転を受け入れる一方、高技能労働者は高い賃金を求めてそれらの国に流出した。イギリスでは移民流入による自国民の失業率の上昇や、社会保障費の負担増などからの社会不安が強まり、移民政策や経済政策で E U に制約されない独自性を求めて離脱を選択した。

【加点ポイント】

i) 労働力の移動について (8 点)

- ① (契機として) E U の東方拡大/東ヨーロッパ諸国の E U 加盟 →2 点
- ② (①により) 西側諸国が東ヨーロッパに工場の移転を行った
/東欧諸国は西側諸国から工場の移転を受け入れた →2 点
- ③ (②の背景) 東欧の安い労働力/東欧の方が生産コストが安い
/東欧は物価が安い/東欧は低賃金で高技能労働者が多い →2 点
- ④ (③の背景) 東欧は社会主義体制下だった/東欧は元社会主義国である →1 点
- ⑤ (①により) 高技能労働者は西側諸国に流出した/東欧の労働者が西側に移動した
/高技能労働者はイギリスにも流入した →1 点

ii) イギリスの E U 離脱の背景について (8 点)

- ① 失業率の上昇/失業者の増大 →2 点
- ② 社会保障費の上昇 →2 点
- ③ (①②の背景) 移民の流入/E U 域内からの労働者の流入 →2 点
- ④ (E U への不満) E U の移民政策への不満/E U に政策を制約されたくない
/イギリス独自の移民政策を採りたいため →2 点